

令和5年度 第3回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和6年1月25日（木） 午後6時00分～午後7時40分

場所 仙北市西木庁舎2階201会議室

出席 出席委員12名（欠席委員6名）

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

（1）角館小学校・白岩小学校の統合準備状況について（報告）

～事務局説明～

昨年7月から両校関係者により組織する統合準備委員会で、統合に必要な協議を行い、1月18日の最終会議ですべての協議が調った。

今後、統合準備委員会から教育委員会に対し、協議結果の報告書が提出される予定で、教育委員会は、報告内容を踏まえ、統合の判断と手続きを進めることになる。

（特に質問等なし）

（2）こども・保育園及び小・中学校保護者との意見交換会について（報告）

～事務局説明～

昨年12月、市内すべてのこども・保育園及び小・中学校で、今年度中にまとめる「学校適正配置計画（骨子案）」の中間報告と、「保護者が考える学校再編案」のアンケート（任意提出）を行った結果について報告。

※アンケート結果は、市ホームページ>市民情報>教育>学校適正配置>アンケート>「私が考える学校再編案アンケート結果」に掲示。

事務局	平成30年度に桧木内中と西明寺中の統合を議論した当時は、桧木内地区では統合に否定的な意見が大勢だったが、今回のアンケートでは、統合が必要と考える意見がほとんどであり、大きく変化したとみている。
委員	桧木内地区では、平成30年度当時も保護者の中には統合すべきという意見は一定数あった。今は、小学校低学年やこども園児童の保護者は早めの統合を望んでいるという声を耳にする。今回のアンケートで意見が明らかになったので、市は統合案を示して進めていけば良いと思う。
委員	白岩地区のように、統合を望む保護者が中心となって地区の意見を集約し、要望書を提出するとよいのではないか。
委員	白岩地区では、統合を望む小学校と保育園の保護者の考えを地域住民に理解してもらえたことで、早期に統合を進めることができた。

委員	<p>桜木内地区では、白岩地区と同じように地域住民の理解を得て進めていくことはなかなか難しいと感じている。白岩地区は区長の存在や理解が大きいと思う。</p>
委員	<p>西木地区では、白岩地区の統合に向けた動きは刺激になったと思う。しかし、自分たちで行動する所までは至らず、市まかせ的な雰囲気を感じている。</p>
委員	<p>この先は、市が統合案を示して進めていく方がいいと思う。組み合わせについては、西木地区で統合しても数年後にまた統合しなければならない状況は避けた方が良く、より大きな統合案を示していった方がいい。</p>
委員	<p>神代地区では、他地域に比べて全体的に危機感が少ないように思うが、こども園保護者世代は統合に前向きかもしれない。将来的に統合は避けて通れない認識はあるものの、差し迫った課題とは感じていないように思う。</p>

(3) 学校適正配置計画（骨子案）について

～事務局説明～

前回会議で指摘のあった箇所の修正について説明。

(異議なく了承)

(4) 具体的な実施計画（再編試案）について

～事務局説明～

アンケート結果を踏まえ、小・中学校それぞれの再編試案を作成した。

今年4月から市民にたたき台として提示し、より具体的な意見交換に入っていきたい。

委員	<p>児童生徒数の減少推計を踏まえると、10～20年先を見通して、より大きな統合を考えていくことが賢明だと考える。</p>
委員	<p>角館に統合すると仮定し、通学距離が最も遠い地域の立場で考えた場合、子どもの負担を思うと辛い。さらにスポ少などを行う場合は、帰宅時間がかかり遅くなる。アンケート結果で、距離的に近い学校同士の統合を考えている意見が多かったことは理解できる。</p>
委員	<p>角館は、まだ児童生徒数が多いため、統合を求めない意見が多いが、危機感を共有し、将来を見据えて1つになることを考えていく必要があると思う。</p> <p>角館地区の保護者に、他校との統合を説明することは難しいが、今までにない斬新な発想で魅力ある学校をつくるということであれば、みん</p>

な納得して目指そうという気持ちになれるのではないか。

委員

これからの時代に合った学びの環境を考えた場合、老朽化が進んでいる古い時代のタイプの校舎を活用することは現実的とは思えない。

委員

この際、市の真ん中に、新しい統合校舎を建てたらどうか。

委員

スクールバスの所要時間は、停留所設置数や冬季や天候などの影響も考慮すると、かなり長くなってしまふことが心配される。

事務局

走行距離に加えて停留所設置数が多いほど時間がかかるため、運行計画にあたっては、遠方地域はある程度の区域まで乗せたら学校に直行するなど時間短縮する工夫が必要と考えている。

委員長

単に物理的な統合ではなく、新しい特色のある学校をつくる視点に立って考えていきたい。再編試案については了承する。

5 閉会